



2018年3月期 第2四半期 決算説明資料

2017年11月20日



カッパ・クリエイト株式会社

(東証1部 7421)

免責事項

本資料は、当社グループについての一般的な情報提供を目的としており、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、外食産業の市場動向、消費者の嗜好の変化、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。



1. 2018年3月期 第2四半期 連結業績概況

(単位: 百万円)

	2017年3月期	2018年3月期
売上高	39,870	40,108
営業利益	144	292
経常利益	214	380
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	283	256

国内回転寿司事業

売上高・コスト両面での施策により営業利益改善

■ 売上高の回復基調を維持

- 継続的な品質の向上及びメニュー構成の改善による商品力の強化
- スピードを軸としたサービスレベルUP

■ 政策的な費用投入とコスト管理の徹底

- ブランド向上・人員確保に先行投資を実施
- 廃棄ロスの低減活動・人員配置計画の精緻化

海外回転寿司事業(韓国)

現地ニーズに応じたメニュー変更により、安定的な収益を確保

デリカ事業

拠点の統廃合及び新規取引先の拡大、不採算取引の整理を通じて、採算改善に注力

2. 国内回転寿司事業における上半期の成果

商品力の強化

- グランドメニューのブラッシュアップ
 - 四季に応じた入替によるメニュー鮮度向上
- 月替わりフェアメニュー充実
 - 多様な食材の仕入ルート
 - お客様への訴求力向上への取り組み



サービスレベルの向上

- 人員充足を全社的に推進
 - 売上機会ロスを極小化するため、繁忙期・週末には可能な限り人員の確保を優先
- ご案内方法の改善・提供時間の短縮
 - 前期末に比して、半期平均で10%以上の提供時間短縮
- 商品再現性の向上
 - メニュー設計における再現性概念の浸透
 - マニュアル見直しによる再現クオリティの向上

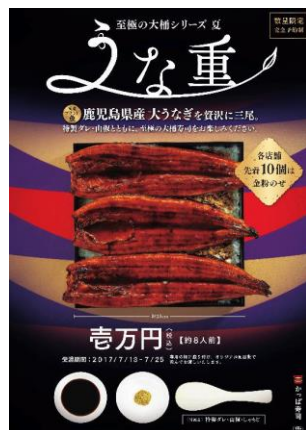


顧客コミュニケーションの多様化

■ ブランディングを目的としたCMの放映開始

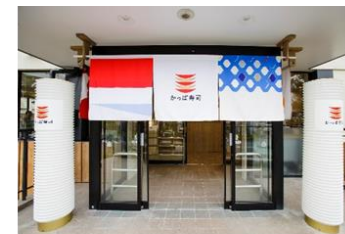


■ 商品体験を伴うプロモーション施策の展開

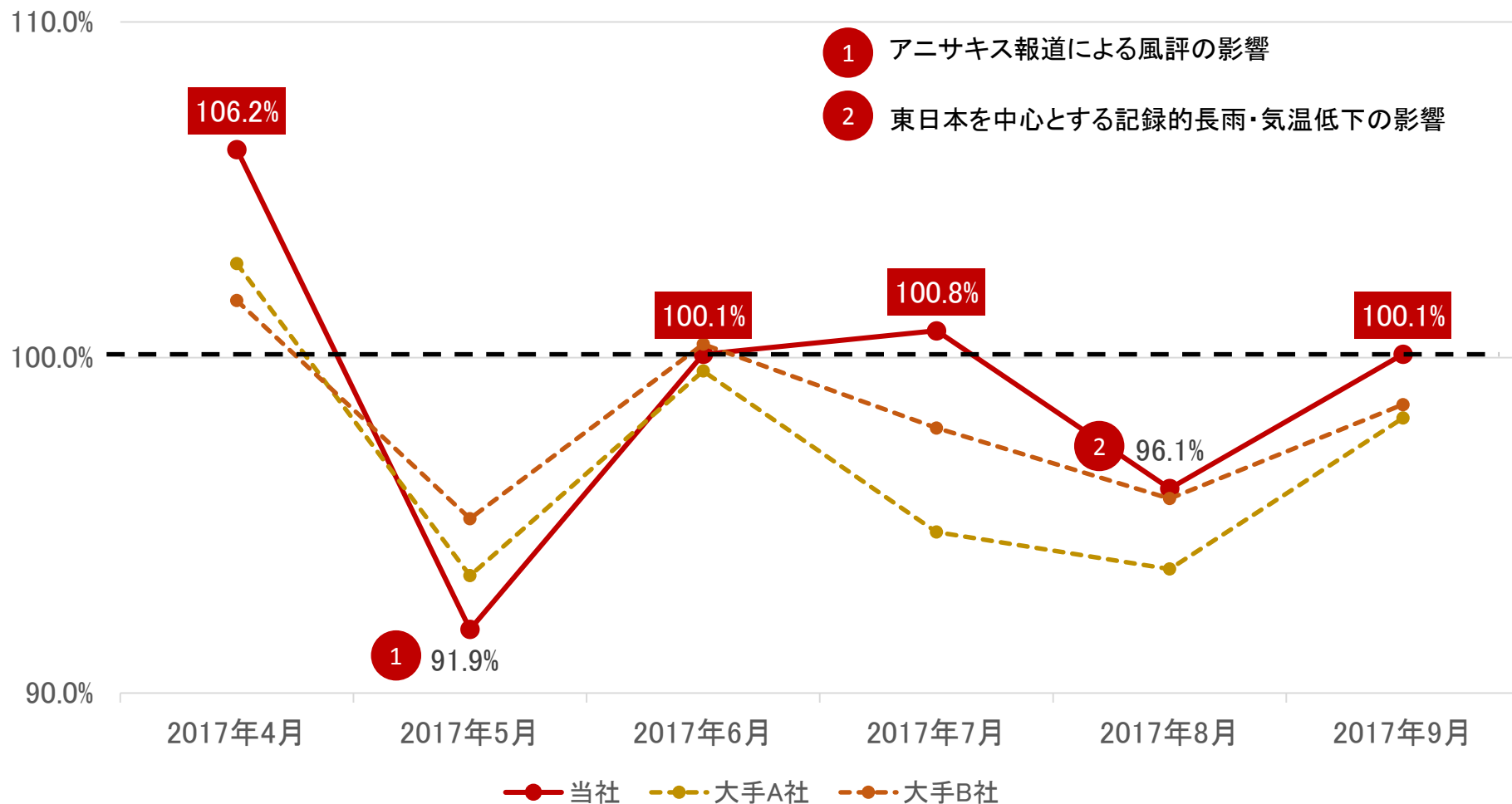


大規模な店舗改装の継続実施

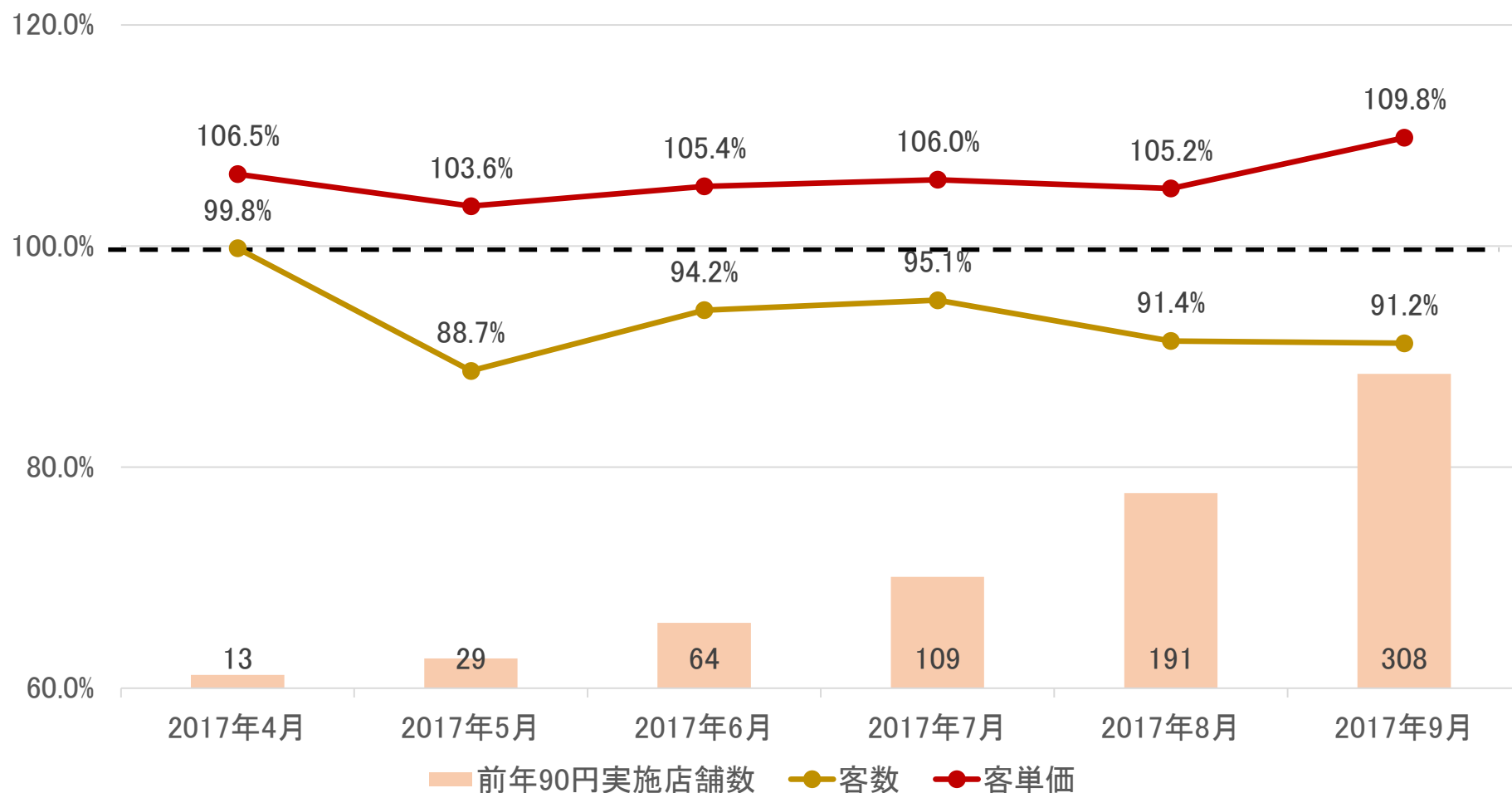
■ 店舗における体験価値の向上 - 首都圏 12店舗・中京圏 5店舗



明確な要因がある5月・8月を除き、既存店昨対比は100%を上回る基調を維持しており、従来トレンドからは大きく転換



前期平日90円施策の反動により、表面的には客単価増・客数減となったものの、客単価の実額は半期を通じて安定。客数増に向けて、下半期は更なる施策の積み増しを行う。



グループ連携による仕入価格上昇の抑制

- コロワイドグループに属するコロワイドMD・バンノウ水産との連携強化
- 時期・ボリュームも含め、迅速な意思決定により、仕入の最適化を推進

食材廃棄ロスの削減

- オペレーションの再構築による、食材廃棄ロス削減に向けた全社的なマインド醸成
- ロスを的確に把握するための管理データ、並びに店舗における管理方法の改善
- 当第2四半期において、前期比1%以上(売上比)の改善を実現

ブランド構築に向けた政策投資

- 新ロゴへの看板変更(ほぼ全店で完了)
- 店舗改装の他、美装修繕の積極実施
- 質感を重視したブランドCMの放映

人件費水準の適正化

- 人員投入の指標を再分析し、精緻化
- 日々の投入計画・実績を継続的に管理することによる、適正水準での運営実現



3. 国内回転寿司事業における今後の施策

利用機会・動機の充実

■ 話題性の高い「食べ放題」の全店実施

- 11月1日～22日まで開催

■ 新たなニーズ・需要開拓に向けた「一皿50円」

- 「同じ価格で多様なメニューを食べたい」・「色々試したいが、多くは食べられない」とのお客様からご意見が出発点
- 11月下旬より首都圏一部店舗にてトライアル開始



平日売上対策の強化

■ 「ハッピー平日かつぱ寿司」

- 丼メニューをはじめ、お得感のあるワンコインランチなどを現在開発中
- 第4四半期中の商品化を予定

ハッピー 平日
かつぱ寿司



店舗改装の継続実施

■ 第3四半期までに7店舗の改装を予定

- 経過年数・改装効果を加味して、第4四半期以降も順次実施予定



4. 2018年3月期 連結業績予想

(単位: 百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	2018年3月期 業績予想
売上高	80,320	79,422	81,268
営業利益又は損失(△)	2,549	△524	2,521
経常利益又は損失(△)	2,723	△349	2,703
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(△)	5,281	△5,807	1,383